

~~~~~ 編集室だより ~~~~~

- \* 編集委員会の構成につきましてご報告申し上げます。支部選出の委員では、東北支部で齋藤博次先生が退任されて後藤史子先生が、東京支部で石原剛先生が退任されて大申尚代先生が、関西支部で中川優子先生が退任されて里内克巳先生が、九州支部で早瀬博範先生が退任されて渡邊真理子先生が、新たに就任されました。これまでご尽力いただきました齋藤先生、石原先生、中川先生、早瀬先生に改めまして感謝申し上げます。また、去る5月23日に立正大学で開催された書評会議で、2015年度編集委員長に後藤和彦先生が選出されました。
- \* 書評会議では、2014年に出版されたアメリカ文学関連研究書28点について検討し、12点を次号機関誌の「書評」欄で、11点を「短評」欄で取り上げることになりました。書評執筆依頼をご快諾くださいました先生方にお礼申し上げます。また日文号の「書評」欄で取り上げた研究書については、英文による内容紹介を編著者の方々執筆いただき、英文号に掲載することになっています。すでに依頼の文書をお送りしているかと存じますが、どうぞよろしく願いいたします。
- \* 本学会機関誌への投稿論文は4月30日に締め切られました。投稿数は27篇でした。ご投稿くださいました皆様に厚くお礼申し上げます。7月4日に開催されました編集会議において、委員全員による討議を重ねた結果、日文号に3篇、英文号に5篇が、それぞれ採用されることとなりました。以下、順不同敬称略で採用論文執筆者のお名前、所属支部、論文題をお知らせします。

【日文号論文 3篇】

- 大内 真一郎（関西） 月光と「翻訳」——リチャード・パワーズの『黄金虫変奏曲』における『夏の夜の夢』  
 幸山 智子（九州） 指先の詩学——『ガラスの動物園』における書くこと/描くことの戦略  
 石川 まりあ（北海道） 神殿を建てる大工——Emily Dickinsonの「家」と創作の作法

【英文号論文 5篇】

- 来馬 哲平（東京） “Close, Cool, High” —— “Southern Cross” and Mobilizing a Distant Closeness  
 秋田 万里子（東京） “A Jewish Writer” as an Oxymoron——Cynthia Ozick’s Self-Contradiction in Story-Making in “Usurpation (Other People’s Stories)”  
 井上 博之（東京） The Hi Lo Palimpsest——Remapping the West (ern) in *Bobby Jack Smith. You Dirty Coward!*  
 小林 正臣（九州） The Bartlebys Diversified——*Miss Lonelyhearts* and Office Fiction  
 衣川 将介（北海道） Taking Yet Mistaking: Puns in “The Purloined Letter”
- \* 上記採用論文のうち、著者が新人賞受賞資格を持つ論文についてさらに選考を行いました。その結果、以下の1本の論文が新人賞の受賞作となりました。

来馬 哲平（東京） “Close, Cool, High” —— “Southern Cross” and Mobilizing a Distant Closeness

- \* 当学会では新人賞創設にともない、2010年度より投稿規定が改定されました。投稿の際には改訂後の投稿規定を遵守くださいますようお願いいたします。図版等の掲載につきましては、著作権の申請作業およびその費用を、執筆者にご負担いただくことになりました。よろしくご承知おきください。投稿規定に準拠しない注、文献形式など、規定に従っていない論文、また体裁などに不備がある論文（*MLA Handbook for Writers of Research Papers*, 第7版参照のこと）は、編集委員の査読に際して不利な印象を与えます。はなはだしい場合には、審査の対象から外れる場合がありますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
- \* すでに会報でもお知らせしてありますように、NIIの事業一部終了に伴い、閲覧プラットフォームをCiNiiからJ-STAGEならびにEBSCOへ移行する手続きを進めております（移行完了後も、CiNiiで書誌情報の検索はでき、リンクによってJ-STAGEに飛ぶことで本文閲覧ができます）。今後の移行スケジュールにつきましては詳細が決定次第お知らせいたしますので、今しばらくお待ちください。

- \* これまで編集室幹事としてご尽力くださった本合陽氏が、昨年度をもって退任されました。この場を借りてお礼を申し上げます。なお、昨年10月の代議員会において編集室幹事への就任が承認されました常山菜穂子（慶應義塾大学）が、正式に幹事として加わりました。これからも当学会機関誌の刊行に支障のないよう努めたいと思います。よろしくお願い申し上げます。
- （編集室幹事 中野学而，有光道生，常山菜穂子）